

【様式1】

団体名

栗国村立栗国中学校

連絡先 TEL：098—988—2011

Eメール：aguni-ky@cosmos.ne.jp/

1 実践事項 「キャリア教育の視点を踏まえた地域素材を生かした学習」

2 実践内容

本校は「15の旅立ち」に向けて、生徒にたくましく生きる力を身につけさせるために、小中併置校である事を生かし、小学1年から中学3年まで各学年の発達の段階に応じたキャリア教育を、地域教育資源を活用しながら継続的に実践しようと試みている。

3 説明資料

(1) 中学部の取り組み例

1年生 栗国島の産業や自然を調べ、それをまとめて地域、島外に発信するパンフレットの作成



栗国島について調べ学習



2年生 自分たちで商品の製造や販売を通して職業観や勤労観を育成させる起業体験



企業計画を先生方にプレゼン



商品作成



学習発表会で商品販売

3年生 卒業生から学ぶ進路学習や、卒業制作の壁画作成で将来について意識させ、幼稚園訪問や保護者への弁当づくりを通して保護者や地域への感謝の気持ちの育成を図る。



先輩方を招いて進路学習会



幼稚園へ訪問



家族へ手作り弁当を渡す

(2) 栗国小中学校としての取り組み例

- ・朝の清掃活動を小中一緒になっておこなう。
- ・魚捌き体験や運動会などの行事を地域の方々の協力を得て開催する。
- ・地域の伝統行事への積極的な参加

4 成果

- (1) 地域教育資源を活用することにより、自分たちの地域のことを知るとともに、職業観や勤労観を育成させることができた。
- (2) 「15の旅立ち」に向けて実践的な活動を行うことで、自分の将来や進路の見通しを立てて考えられるようになった。

5 課題

- (1) 地区音や地区陸、部活動の大会などの対外的な行事がある場合、移動に時間を多く割かなければならぬので、授業時間の確保が課題である。
- (2) 小中で連携したカリキュラムマネジメントの作成をしているが、教職員の入れ替わりが早いため、しっかりと引継ぎが必要である。